

# Pickup Events



日=日時、日程 定=定員 料=費用 持=持参物  
場=場所 問=受付、問い合わせ ☎=電話番号



▲市内で栽培されている色とりどりの花々

**ふくつ観光協会**  
お花マルシェを開催します  
福岡県は全国屈指の花の生産地です。市内でも地元農家がさまざまな花を栽培し、その質の高さは評判です。  
市内の新鮮な花を取り扱っている直売所「あんずの里市」の美しい花々を販売します。春の花々で部屋を明るく彩りませんか。  
3月9日(水)、3月16日(水)、3月23日(水) 午前11時～午後4時 ※商品がなくなりしだい終了  
問 場 場 場  
ふくつ観光協会 ☎42

9988  
**津屋崎千軒なごみ**  
二村弘行ジャズ・ギターライブ  
ギター一本でのライブ演奏です。  
3月6日(日) 午後2時～午後3時  
定 30人 ※要予約  
料 無料  
オレンジカフエ津屋崎  
認知症の人やその家族、地域住民のかたなど誰でも気軽に集える場所です。  
3月15日(火) 午後1時30分～午後3時30分  
料 茶菓子代などとして100円  
うみがめ室内管弦打屋コンサート  
美しい管弦楽の演奏をお楽しみください。  
3月16日(水) 午前11時～正午  
定 30人 ※要予約  
料 無料  
B・ジンジャーコンサート  
マンドリン・ギター・歌など、3人の美しい歌声や楽器の音色をお楽しみください。

3月26日(土) 午前11時～正午  
定 30人 ※要予約  
料 無料  
なごみ歌カフエ  
平川卓哉さんのギター演奏と歌をお楽しみください。  
3月26日(土) 午後2時～午後3時  
定 30人 ※要予約  
料 無料  
青山正泉木こころ書の会  
書とてん刻の教室です。予約が必要です。  
3月の毎週金曜日 午前10時～正午  
料 1回千円  
篠崎春雄切り絵展  
繊細な切り絵の世界をお楽しみください。  
3月19日(土)～3月27日(日)  
問 津屋崎千軒なごみ ☎52・2122

## 藍の家 日記

**藍の家120歳**  
築120年の記念イベントです。詳しくは9ページをご覧ください。  
3月10日(木)～3月27日(日)、4月23日(土)  
**藍染め体験**  
インド藍でハンカチを染めます。インド藍の染料セット付きです。  
3月12日(土) 午後1時～午後3時 ※要予約  
持 ビニール手袋、エプロン 料 2,000円  
**ウクレレ体験**  
ウクレレの初心者を対象に体験活動をします。  
3月13日(日) 午後2時15分～午後3時15分 ※要予約  
料 500円(含楽器レンタル料) 定 5人  
問 赤木さん ☎050・3703・0312  
**藍の家放送局**  
K11の2人が1960年代のフォークソングなど、懐かしい曲を演奏します。  
3月20日(日) 午後1時～午後3時  
**手仕事を楽しむ**  
「ゆめいろのたねまき」と仲間たちの作品展です。期間中日替わりでワークショップをします。  
3月30日(水)～4月3日(日) ※初日は午後1時から。要予約  
問 津屋崎千軒民俗館 藍の家 ☎、FAX52・0605  
●開館時間 午前10時～午後4時(日曜日は午前10時～午後5時)



いい素材、食材、人材をつなぐ地域商社

## 今日の「いいざい」 「あんずの花」

「あんず」は福津市市政10周年記念事業で、市の花として決定し、菜の花とともに市のシンボルとなっています。花言葉の「乙女のはにかみ」は、サクラよりも一足早く、はにかむように花を咲かせることに由来するといわれます。

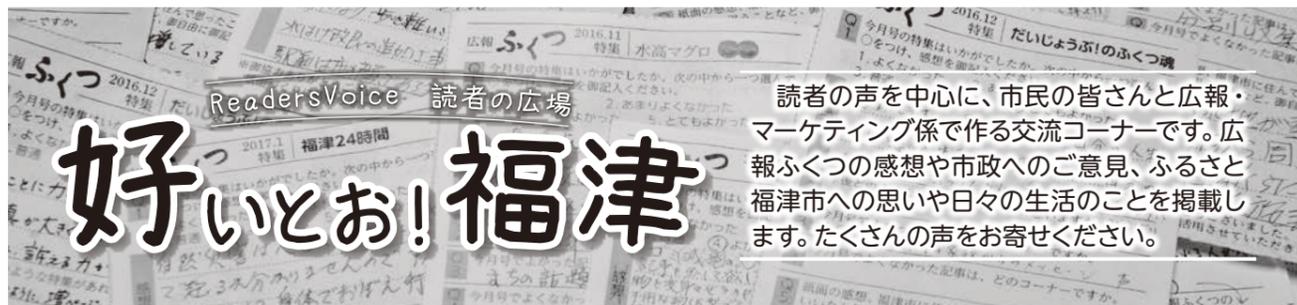
あんずの里運動公園は2,500本ほどのあんずが植えられており、例年3月中旬あたりが見頃です。公園に隣接するあんずの里市も3月13日(日)に「あんずまつり」を開催します。ぜひ、あんずの里に遊びに行ってみませんか。



▲3月中旬に咲くあんずの花

問 あんずの里市 ☎52・5995

問 福津いいざい ☎72・6333



読者の声を中心に、市民の皆さんと広報・マーケティング係で作る交流コーナーです。広報ふくつの感想や市政へのご意見、ふるさと福津市への思いや日々の生活のことを掲載します。たくさんのお寄せください。

**「戻って来い」がきくと伝わっている**  
街角カメラリポートのT・Uさんの記事、いつも楽しく拝読しています。今回のリポートも視点が優しく、ほっと温かい気持ちになりました。T・Uさんのコイへの「戻って来い」の気持ちが伝わったのでしよう。私も機会があれば見に行きたいと思います。(うめさくさん/52歳)

私たち広報担当も、T・Uさんの記事をいつも楽しく拝読しています。日々の暮らしの中の発見や、昔のことを思い出しながら読者にも情景が伝わるような記事を送っていただいていることに大変感謝しています。T・Uさんの記事は、茶色の封筒に手書きの原稿用紙で届くのですが「おっ、今回も来たな」といつも心待ちにしています。

**広報ボランティアからの投稿**  
福岡市博物館学芸員に講演いただきました

令和3年11月、福津市観光ボランティア・ガイド会 定例会が手光公民館で開催さ

れ、およそ30人が参加しました。定例事項とは別に、福岡市博物館の高山英郎さんと八嶋義之さんから「矢野家資料・甲冑と古文書」について講演していただきました。

「矢野家」とは福岡黒田藩に仕えていた家臣で、ガイド会メンバーの実家に当たります。実家の蔵の中で保管されていた甲冑・古文書資料の修理を福岡市博物館に依頼したことが、今回の講演会へとつながりました。

講演の内容は「17世紀以降の黒田家の家臣団の規模や内訳」および「全43件におよぶ矢野家古文書の内訳」についてのもの。丁寧に分かりやすく解説していただきました。

併せて展示されていた矢野家の甲冑などについても解説があり、今後のガイド活動に役立つ情報が多数含まれていると思われる、非常に有意義な講演会となりました。

(広報ボランティア ア永松春一さん)



## 街角カメラリポート

読者の皆さんから寄せられた、市内の出来事や旬の話題をお届け

今回は津屋崎のT・Uさんからの投稿です

### 伊能忠敬さんへの思い

今から約10年前まで「玄界100kmウルトラマラソン」が開催されていた。宮地嶽神社前を午前5時にスタートし、宮若市、宗像市、岡垣町を通り、福津市内の民宿前がゴールだった。岡垣町の波津の海水浴場まで行くと、果てしなく広がる玄界灘が目飛び込んでくる。まさに白砂青松。残り約35km。潮風に吹かれながらひたすら走って走って走り続ける。

ところで、今から約200年ほど前の江戸時代後期。日本全土を測量して「大日本沿海輿地全図」を完成させた測量家伊能忠敬。彼は、玄界灘を一步一步、歩測を続け、夜は神湊や津屋崎に宿泊し、旅の疲れを癒したと伝えられている。彼の目には、この玄界灘がどのように映っていたらうか。多分、その美しさに心奪われたことだろう。そんなことを考えながら走っていると少しは楽になってくる。

夜の11時過ぎにやっとゴールした私。大会関係者はもう誰もいなかったが、家族がみんな待っていてくれたことがうれしかった。



▲大峰山から望む玄界灘

「好いとあ!福津」と「街角カメラレポート」は皆さんと一緒に作るページです。市内での出来事や広報紙の感想などがあれば、25ページのはがきやメールなどで受け付けています。なお、お送りいただいた内容は、加筆、修正、短縮する場合があります。原稿や写真は返却しませんのでご了承ください。また、匿名を希望する場合は、その旨を明記してください。たくさんのお声をお待ちしています。

投稿大募集

